

# NBRP-Rat ラットミュタントマップ



## ラットゲノム

ラットはドブネズミ (学名 *Rattus norvegicus*) を実験動物化したものです。ゲノムは 20 対の常染色体と X と Y の性染色体から成り、約 28 億塩基、24,500 ~ 47,000 個の遺伝子数と推定されています。ヒトの疾患に関連するほぼすべての遺伝子がラットゲノム上に存在しており、ヒト疾患モデルとしてラットが有用であることがゲノムレベルでも確認されています。

## 図の見方

このマップは、ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」のラット系統が保有している変異遺伝子とその機能、および表現型を示しています。変異遺伝子が同定されているものを赤色 (56 個) で、未同定のものを水色 (7 個) で示しており、各染色体上のおおよその位置がわかるようになっています。

